

獨協大学平成22年度事業報告

- 「教育研究支援センター」の設立
- 「東棟」竣工
- 「外国語教育研究所」「情報学研究所」の設立支援
- 全カリ英語「英語学習サポートルーム」設置
- 第3棟跡地庭園化の着手
- キャリア支援の充実

平成22年度は、「基本計画・第5次見直し(平成21～26年度)」の2年目にあたり、本学創立50周年に向けて大学改革とキャンパス再編を加速させる年となりました。

昨年9月には、教育研究支援業務のさらなる向上・発展を目指すために「教育研究支援センター」を発足させました。

また、教育支援機能の集約と、最新の環境対応機能を備えた教室棟「東棟」が完成しました。



昨年8月に竣工した東棟

平成22年度事業報告書(主な内容)

(単位:百万円)

	事業内容	結果・備考等	予算	実績	差異
教 学 関 係	1)「教育研究支援センター」の設立準備費	1) 各部署に分散する教育、研究支援業務の統合と施設の改修等、ソフト・ハード両面でのさらなる教育研究活動充実に向けて支援強化を図りました。	2.0	14.8	△12.8
	2) 新研究所設立支援(外国語教育研究所、情報学研究所)	2) 教育研究支援センターの設立に伴い、研究の拠点となる施設を改修し、新たなスタートを切る両研究所の設立支援を行いました。	1.0	17.0	△16.0
	3) 学部・学科の教育研究の活性化	3) 各学部・学科が様々な視点、発想により、独自の裁量で執行できる活性化促進費の有効活用と教育研究の充実に努めました。	19.0	9.0	10.0
	4) 新学科(交流文化学科)支援	4) 交流文化学科の、学習環境や教育活動に資する運営支援を行いました。	3.0	3.2	△0.2
	5) 全学共通カリキュラムの教育効果向上のための活性化	5) Webサイトの充実を図るとともに、FDの推進、講座開発の研究等により、カリキュラムの充実に取り組みました。	2.3	1.6	0.7
	6) e-learningコミュニティを媒介とした英語教育プログラムの開発等	6) 授業教材「Criterion」等の活用に加え、新たな英語教育プログラムの開発に取り組みました。	3.8	4.4	△0.6
	7) 教育GP関連支援	7) 文部科学省に採択された「学士力に資するEGAP英語教育の充実」を推進しました。	7.5	2.5	5.0
	8) 自己点検評価とFD、SD活動の推進	8) 「授業評価アンケート」、「教育環境改善アンケート」を実施するとともに、FD、SDを推し進め、さらなる教育・環境改善に努めました。	18.4	6.8	11.6
	9) 魅力ある大学院教育のデザインと志願者増加対策	9) 魅力ある大学院のあり方を調査・検討し、大学院学生募集広告を強化しました。	2.7	3.4	△0.7
	10) 国際交流活動の推進と学習の促進	10) 国際的な教育の交流の場であるNAFSA総会に参加し、本学を世界に向けてアピールするとともに、交流先となる他大学の情報も入手し、国際交流の機会を広げました。	2.2	1.5	0.7
学 生 サ ー ビ ス ・ 管 理 運 営 関 係	1) キャリアセンターによる学生への多面的就職支援	1) 前年に引き続きキャリアカウンセラーの増員、各種講座・ガイダンス等の拡充、および就職情報提供の強化等により、多面的支援を行いました。	12.8	14.4	△1.6
	2) キャリアGP関連支援	2) 文部科学省「平成21年度就職支援推進プログラム事業」に採択された「キャリアアカウンティングの強化と地域の協力を得た就職支援」を推進しました。	3.0	4.3	△1.3
	3) 不況対応としての応急奨学金の拡充	3) 学業継続が著しく困難な学生を対象に、応急奨学金の拡充を図りました。	6.6	2.7	3.9
	4) 父母の会から奨学金事業支援	4) 父母の会からの奨学金支援を受けて、奨学金の充実を図りました。	13.0	13.0	0.0
	5) 父母の会から文化施設の無料(割引)利用制度加入支援	5) 父母の会支援により、国立美術館等の文化施設の会員制度に加入し、学生が芸術に触れる機会を提供しました。	2.5	2.3	0.2
	6) インフルエンザ対策と抗体検査の学生補助	6) 感染症対策として、手指消毒液・マスクの準備のほか、はしかなどの抗体検査補助を拡充しました。	1.3	1.1	0.2
	7) 図書館サービスの拡充	7) 開館時間の延長および土曜日や昼休み時間等に人員を増員し、サービスの拡充を図りました。	6.7	6.3	0.4
施 設 ・ 設 備 関 係	1) DAINETⅢ等大学基幹システムの再構築	1) 教育研究系を中心とした全学ネットワークについての更新を行いました。なお、リース会計基準による当該リース額は、1億1,900万円となっています。	40.6	128.9	△88.3
	2) 「学習ポータルサイト」の開発	2) 学生・教職員向け情報サービス「学習ポータルサイト」の開発に着手しました。	25.3	18.1	7.2
	3) 学生センター(仮称)建設計画準備	3) 学友会活動の活性化とサービス向上を促し、学生の総合的な人間形成に寄与することを目的とする「学生センター(仮称)」の建設計画に着手しました。	20.0	29.4	△9.4
	4) キャンパス・ランドスケープ計画と省エネルギー事業の推進	4) 国土交通省「住宅建築物・省CO ₂ モデル推進事業」に採択された内容を中心に、事業計画を推進しました。	247.0	247.0	0.0
	5) 東棟の建設と活用	5) 東棟が竣工し、最新多様な教育設備を擁した65教室の活用が始まるとともに、教務課等の配置により、教育環境の向上に努めました。	1,816.0	1,982.0	△166.0
	6) 第5棟の改修	6) 東棟竣工に際し、第5棟のPC教室を一般教室に改修するほか、防水工事等を行いました。	178.0	221.5	△43.5
地 域 貢 献 関 係	1) オープンカレッジ通年・半期講座の拡充、特別講座の企画	1) 受講者の様々なニーズに応え、開設講座を140講座以上とし拡充を図りました。	4.9	5.2	△0.3
	2) 地域と子どもリーガルサービスセンターの新設移転と広報	2) 松原団地駅前の敬和会館に移転し、さらなる利用者の利便を図るとともに、新たな広報展開を行いました。	1.0	1.1	△0.1
	3) 地域総合、環境共生研究所シンポジウム	3) 両研究所の研究テーマをもとに、シンポジウム等を開催しました。	4.0	2.1	1.9

主な用語について

- 帰属収入** 当該年度に純粋に帰属する収入との意味で、資金収支計算書にある他人資金の借入金や次年度分の授業料等の前受金などは計上されない。
- 学生生徒納付金** 授業料、入学金、施設設備費、その他の実習費等。
- 手数料** 入学検定料、証明手数料等。
- 補助金** 国や地方公共団体等からの補助金収入。
- 雑収入** 退職金財団からの交付金等。
- 基本金組入額** 学校会計では、帰属収入から、学校の基礎となる資産と資金、将来計画のための資産と資金、基金として継続的に保持する資産、恒常的安定経営のための資金の4項目について基本金として確保し、残りを消費支出として運営に充てるように規定している。
- 消費支出** 当該年度において消費される人件費、教育研究経費、管理経費と資金の移動を伴わない退職給与引当金繰入額、減価償却額等が計上される。
- 人件費** 専任の教員、職員、及び非常勤の教員、アルバイト、パートの職員に関する給与、賞与、各種手当、並びに健康保険、年金、労働保険などの大学負担分(所定福利費)と、退職給与引当金繰入額の総額。
- 教育研究経費** 教育研究に直接要する経費の他、教育研究を補助するための事務費、学生厚生に要する経費、入学試験の経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持する経費、並びにその施設設備に係わる減価償却額が計上される。

平成23年度事業計画のポイント

次世代型学習支援の第一歩を踏み出して

今年度の取り組みをお知らせします

平成23年度は、昨年9月に策定した「基本計画・第6次見直し(23～28年度) ー新しいキャンパスの創造に向けてー」の初年度であると同時に創立50周年に向けた大学改革とキャンパス再編の第3ステップに当たる年となります。特に教学関係では、「学習ポータルサイト」の始動をはじめ、学生ひとりひとりに合った新しい形の学習支援がスタートします。

教学関係

- 教育研究支援センターの業務拡充
- 学習ポータルサイトの充実
- 文部科学省GP事業
「学士力育成に資するEGAP英語教育の充実」
- 経済学部新学科増設

昨年9月に発足した「教育研究支援センター」の教育指導、授業補助、TA制度等の拡充を図りました。また教育支援の大動脈となる「学習ポータルサイト」のさらなる充実を図るため、「ポータルシステムⅡ期」の開発を進めていきます。文部科学省GP事業「学士力育成に資するEGAP英語教育の充実」については、学習カルテによる英語学習の伴走者となるべくコンサルティング体制の強化を図ります。

さらに、経済学部到新学科を設置するための準備を進めていきます。

学生サービス・管理運営関係

- キャリアカウンセリングの強化と地域の協力を得た就職支援

経済不況に伴う就職難に対応するため、キャリアカウンセラーを増員し多面的な支援を行うことを旨とした平成21年度文部科学省GPの採択事業「キャリアカウンセリングの強化と地域の協力を得た就職支援」は、平成22年度で補助金交付が終了しましたが、キャリア形成や就職活動の重要性に鑑み「父母の会」からの支援もいただき継続していきます。

- 奨学金の拡充(獨協大学父母の会支援)

本学の学部生向け奨学金制度は、私立大学の同規模校において全国一の水準にあります。東日本大震災や不況による学費延納や応急奨学金が急増しているニーズに応えるべく「父母の会」の支援もいただき増額を実現します。



2012年1月末完成予定の学生センター別館(仮称)(イメージ)

今年度の重点項目

- 1 「教育研究支援センター」運営支援
- 2 学習ポータルサイト
(ポータルシステムⅡ期の構築)
- 3 経済学部新学科増設
- 4 学部・学科教育の充実・活性化
- 5 全学共通カリキュラムの活性化とEGAP英語教育(GP)支援
- 6 奨学金の拡充(獨協大学父母の会支援)
- 7 学生センター(仮称)建設着工、学生センター別館(仮称)の建設
- 8 第3棟跡地庭園緑化等
(「キャンパス・ランドスケープ計画」の一環)
- 9 「伝右川の水辺再生事業」の推進
- 10 埼玉県、草加市、自治体、UR等との連携強化

施設・設備関係

- 第3棟跡地の庭園緑化等
(「キャンパス・ランドスケープ計画」の一環)
- 学生センター(仮称)の建設
- 学生センター別館(仮称)の建設
- 「伝右川の水辺再生事業」の推進

秋学期のオープンを目指し、第3棟跡地に緑化庭園の建設を進めていきます。また、2012年10月竣工を目指し第1棟跡地には「学生センター(仮称)」を、今年度中には35周年記念館東側に「学生センター別館(仮称)」を建設します。

さらに、埼玉県の水辺再生事業「水辺再生100プラン」に採択された「伝右川の水辺再生事業」では、埼玉県と調整しつつ、本学独自で「キャンパス・ランドスケープ計画」や環境共生研究所の諸事業と連携した周辺整備を行っていきます。

地域貢献関係

- 埼玉県、草加市、自治体、UR等との連携強化
- 地域総合研究所、環境共生研究所でシンポジウムを開催

毎年多くの市民の方々が参加する地域総合研究所、環境共生研究所のシンポジウム開催をはじめとした近隣住民、自治体との交流を促進する施策をとっていきます。

平成23年度事業計画書(主な内容)

(単位:百万円)

	事業名称	事業内容	予算
教学関係	1)「教育研究支援センター」の運営支援	1) 本学の教育研究支援業務を統合した新組織「教育研究支援センター」の下、教育指導、授業補助、TA制度等の拡充を図り、更なる教育研究活動に資する運営支援を行います。	15.0
	2) 学習ポータルサイト (ポータルシステムⅡ期の構築)	2) ポータルシステムⅠ期(平成23年4月稼働)に続き、Ⅱ期(学生ポートフォリオ、健康管理、成績管理等)の構築に着手します。	15.8
	3) 経済学部新学科増設	3) 経済学部新学科増設準備のため市場調査や分析を行います。	5.1
	4) 学部・学科教育の充実・活性化	4) 各学部・学科が様々な視点、発想により、独自の裁量で執行できる活性化促進費の有効活用により、教育研究の充実を図ります。	22.0
	5) 全学共通カリキュラムの活性化とEGAP英語教育(GP)支援	5) WEBサイトの充実、FD・講座開発研究、講座担当者の紀要等、全学共通カリキュラムの教育促進に努めます。また「学士力向上に資するEGAP英語教育の充実(平成21年度大学改革推進事業採択プログラム)」の実践により、全カリ英語の更なる充実を図ります。	24.3
	6) 大学院教育の活性化(各研究科)	6) 広報強化を図るとともに、魅力ある大学院として、将来計画を見据えた調査・検討等を行います。	2.7
	7) FD・SD活動の推進	7) FD・SDを推し進め、更なる教育・環境改善に努めます。	9.4
	8) 国際交流活動の推進と提携校の拡大	8) 世界の高等教育機関が集う国際教育交流の場(NAFSA総会)に参加し、本学を世界に向けてアピールするとともに、継続して新規協定校開拓に努めます。	2.9
	9)「外国語教育研究所」の開設	9) 研究機能の強化として、旧外国語教育研究所を改組し、新たな研究所を開設します。	12.0
	10)「情報学研究所」の開設	10) 研究機能の強化として、旧情報センターを改組し、新たな研究所を開設します。	12.0
	11) 監査業務並びに自己点検の強化	11) コンプライアンスの順守並びに自己点検評価の強化に努めます。	0.5
	12) 海外インターンシップの調査・開拓	12) 海外インターンシップにおける事前研修および実施のための調査を行います。	1.8
学生サービス・管理運営関係	1) キャリア形成教育、 キャリアカウンセリングの強化支援	1) 就職支援推進プログラム(文科省平成21年度)の採択を受け、増員強化したキャリアカウンセラーによる就職支援強化に引き続き取り組みます。	12.5
	2) 奨学金の拡充(父母の会)	2) 「父母の会」からの支援により「獨協大学父母の会奨学金」を拡充します。	18.0
	3) 休業期間中の図書館開館時間延長	3) 休業期間中の図書館開館時間を延長することにより、カウンターサービス等図書館サービスの拡充を図ります。	5.5
	4) 抗体検査の実施費用補助	4) 感染症対策として、はしか等の抗体検査の補助を行います。	1.3
	5) 携帯サイトのリニューアル	5) 携帯等モバイル版でのスピーディな情報発信を行い、新たな広報展開を図ります。	5.0
	6) 獨協大学五十年史編纂 (本学創立50周年記念事業)準備	6) 本学創立50周年(平成26年)に向け、編纂作業部会を中心に「獨協大学五十年史」の準備を進めます。	2.5
	7) 「獨協大学父母の会」との連携強化	7) 「父母の会」との連携を強化し、奨学事業、就職支援等における学生への支援を図ります。	0.5
	8) 「日独交流150周年」関連企画	8) 日独交流150周年に合わせ、本学とドイツに関わる展示、レクチャーコンサート、ドイツ・フェスティバル等を大学内外で開催します。	14.7
	9) 小惑星探査機「はやぶさ」地球帰還カプセル展示等	9) 小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル等展示、研究者による講演等を行い、学生および地域への貢献を果たします。	6.0
	10) 学校医の増員	10) 学校医を増員し、月曜～金曜日に校医不在日をなくし、学生・教職員の健康管理に努めます。	8.6
施設・設備関係	1) 「学生センター(仮称)」の建設着工	1) 学友会活動の活性化と学生サービス向上を促し、学生の総合的な人間形成に寄与することを目的として、学生センターの建設を着工します。(平成24年10月竣工予定)	1,520.0 (総工費 32.2億円)
	2) 「学生センター別館(仮称)」の建設	2) 学生センター建設に伴い、弓道場の移設、学生用更衣室・シャワー室等を設置します。(平成23年11月竣工予定)	(上記総工費 に含む)
	3) 第1棟の解体	3) 学生センター建設に伴い、22年度より着手している第1棟を解体します。	50.0 (総費用70.0)
	4) 第3棟跡地庭園緑化等	4) キャンパス・ランドスケープ計画の一環として、第3棟跡地に緑化庭園や、天野貞祐記念館から東棟までの舗装、回廊の設置等キャンパス整備を推進します。	224.0
	5) 「伝右川の水辺再生事業」の推進	5) 埼玉県水辺再生100プランに採択された「伝右川の水辺再生事業」を推進します。	150.0
	6) 中央棟の施設拡充・設備更新 (入試部学生ラウンジ拡張他)	6) 年次計画により施設拡充・設備更新工事を行います。 入試部を1階に拡張し、応接ラウンジを設け、入試広報の強化を図ります。	200.0
	7) 図書館自動書庫の増設(2機)	7) 蔵書収納能力アップを図るため、図書館自動書庫2機を増設します。	254.9
	8) DAINETⅢの全学的整備	8) DAINETⅢの整備に合わせた天野貞祐記念館ネットワークとのシステム統合を行います。	65.8
	9) 図書館内PCの更新と設置席の増設	9) 図書館内PCの更新とPC設置席を増設します。	17.1
地域貢献関係	1) オープンカレッジの拡充	1) 広報強化により本学の公開講座を広くアピールするとともに、受講者の様々なニーズに応えるべく、開設講座の充実を図ります。	5.8
	2) 地域総合、環境共生研究所シンポジウム	2) 地域総合、環境共生研究所主催のシンポジウムを開催し、地域社会に向けた情報発信を積極的に展開します。	4.0
	3) 埼玉県、草加市、自治体、UR等との連携強化	3) 草加市文化交流事業をはじめ、関連機関と積極的に関わり、交流事業を展開します。	1.0
	4) 地域市民との交流	4) 近隣住民との良好な関係を築くことを目的に、定期的な交流の場を設けるとともに、地域市民の交流の場として、グラウンド貸し出し等を行います。	0.4
	5) 夏休み中の高校生への大学施設 (図書館)開放	5) 夏休み中に高校生に対し図書館を開放し、地域社会に貢献します。	0.1